

# RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでのポートトリガーの設定

## 目的

ポートトリガーは、ポートが使用されていないときにポートを閉じることによって、より安全な環境を提供します。また、ポートをオンデマンドで開くように要求できる特別なアプリケーションにも使用されます。ポートトリガーにより、NAT対応ルータの背後にあるコンピュータは、インターネット上の特別なサーバにアクセスしたり、特別なアプリケーションを使用したりできます。

このドキュメントの目的は、RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでトリガーされるポートを設定する方法を説明することです。

## 適用可能なデバイス

- ・ RV016
- ・ RV042
- ・ RV042G
- ・ RV082

## [Software Version]

- ・ v4.2.1.02

## ポートトリガー

ステップ 1 : Router Configuration Utilityにログインし、Setup > Forwardingの順に選択します。Forwardingページが開きます。

**Port Triggering**

Application Name :

Trigger Port Range :  to

Incoming Port Range :  to

ステップ 2 : 「アプリケーション名」フィールドにアプリケーション名を入力します。

ステップ 3 : Trigger Port Rangeフィールドに、ポートをトリガーするポートの範囲を入力します。たとえば、トリガーポート範囲(1050 ~ 2000)からデータが送信されると、着信データは着信ポート範囲(2001 ~ 2050)で受信されます。

ステップ 4 : Incoming Port Rangeフィールドに、ルールがトリガーされたときに転送される着信ポートの範囲を入力します。

ステップ 5 : 必要な数のポートをトリガーするには、Add to listをクリックします。

**Port Triggering**

Application Name :

Trigger Port Range :  to

Incoming Port Range :  to

Example[1050~2000;2001~2050]

ステップ6: ( オプション ) サービスリストからポート範囲エントリを削除するには、ポートトリガリストからエントリを選択して、Deleteをクリックします。

ステップ7: ( オプション ) ポート範囲エントリを更新するには、ポートトリガリストからエントリを選択し、Updateをクリックして、目的のフィールドを編集します。

ステップ8: ( オプション ) リストに新しい範囲を追加するには、Add Newをクリックします。新しいサービスを追加するには、手順2 ~ 4に従います。

ステップ9 : Saveをクリックして、すべての設定を保存します。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。